

# Premium Tail Muffler

No. MBL8Y10

取付・取扱説明書

# AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1  
TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ プレミアテールマフラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に  
行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ず一読いただき、お取り付けの際には本書に従って作業を  
進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

取付可能車種 ※車検証の備考欄にマフラー加速騒音規制適用車と記載されている車（平成22年4月1日以降の生産車）

⚠注意：本品を下表の取付可能車種以外に取り付けをしてしまうと、国土交通省令に定める道路運送車両の保安基準に合致  
せず違法改造となります。取付可能車種以外へのお取り付けは絶対に行わないでください。

部品番号	性能等確認済 表示番号	取付可能車種				
		車種名・グレード	型式	エンジン型式	年式	ミッションタイプ
MBL8Y10	JATA-10100011S	アクセラスポーツ 15C	DBA-BL5FW	ZY	2010年4月～	CVT車

取付可能車種 ※上記以外の車（平成22年3月31日以前の生産車に生産された車両）

部品番号	取付可能車種				
	車種名	型式	エンジン型式	年式	ミッションタイプ
MBL8Y10	アクセラスポーツ 15C	DBA-BL5FW	ZY	2009年6月～ 2010年3月	CVT車

## 構成部品

No.	部品名称	仕様	数量
①	メインサイレンサー	ステンレス製 メインφ50.8	1
②	テールパイプ	ステンレス製 メインφ50.8 テールφ110×95オーバル	1
③	マフラークランプ	ステンレス製 メインサイレンサー差し込みフランジ部固定用	1
④	マフラーガasket	メインサイレンサー～テールパイプ間用	1
⑤	ボルト	スチール製 M10×35	2
⑥	ワッシャー	スチール製 10.5×18×2.0	2
⑦	フランジナット	スチール製 M10	2
⑧	保安基準適合証明書		1
⑨	ユーザー登録フォーム		1
⑩	取付・取扱説明書	本書	1

## ⚠注意事項（ご使用者の方へ）

- ① 本製品はユーザー登録対象製品となっております。ユーザー登録フォームは、万が一の製品不具合情報や、商品に関する重要なお知らせなど、当社からお客様へご連絡を差し上げる際の重要な資料となりますので、必ずご登録くださいますようお願い申し上げます。
- ② エンジンが動いているとき、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは非常に高温になっております。特に後端のテールパイプ部分は、自動車の外に露出しているため接触しやすいので十分に注意してください。触れると火傷する危険があります。お子様には特に注意してください。また、トランクから荷物を出し入れする時、衣類がテールパイプに接触すると、焦げたり溶けたりすることがあります。駐停車する際にも周囲に十分気を付けて下さい。
- ③ マフラーは消耗品です。正しい使用方法を守り、経年変化等により本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
- ④ ジムカーナやサーキット走行など特殊な用途でのご使用は、製品の耐久期間が著しく低下する恐れがあります。予めご了承ください。

## ⚠ステンレス材の取扱について

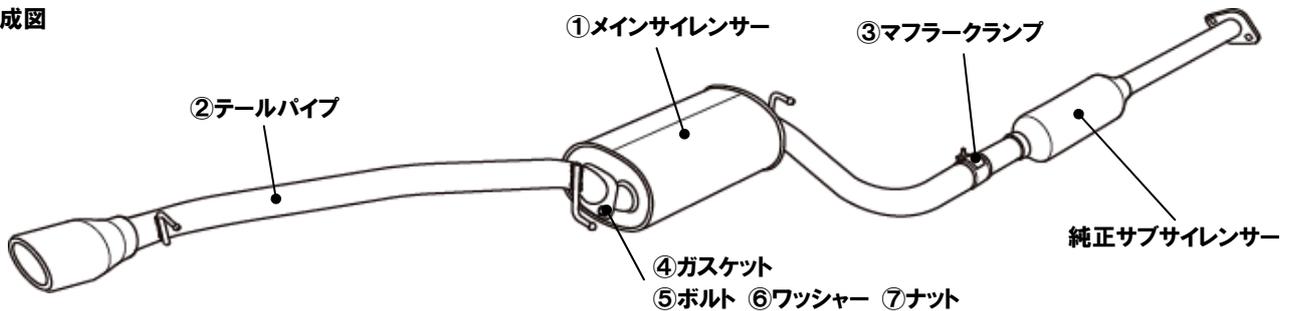
1. 本製品はオールステンレス素材バフ仕上げ製品となっており、きれいな状態を保つには日頃のメンテナンスが必要です。ご使用中の汚れは、定期的には中性洗剤を薄めた液をスポンジなどにつけて水洗いし、汚れがひどい場合やムラ焼けが発生したときは、早めに金属みがき材（日本磨料工業（株）製 ピカール液など）で磨いてください。
2. ステンレス材の色焼けは素材の特性ですので、あらかじめご了承ください。
3. 取付作業中およびご使用中に付着した油よれなどをそのままにしておくと、ムラ焼け（または黒色変色）の原因となります。付着した場合は柔らかい布などを使用して完全に拭き取っていただき、ムラ焼けが発生したときは、早めに金属みがき材で磨いてください。



**危険!**

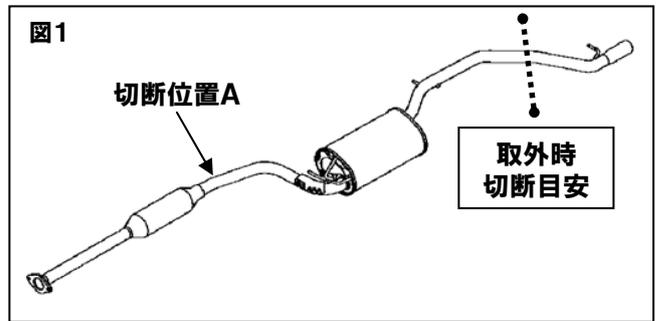
マフラーの切断に際しては、車両火災や怪我を防止する為、車両に火花などが飛散しない様、耐熱布などで保護措置を行い、作業者の方も保護メガネ・保護手袋を使用して安全に作業を行ってください。

完成図



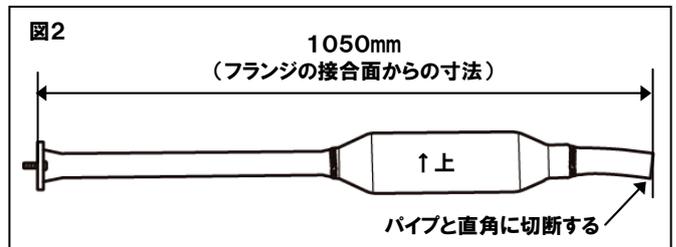
1. 取付・取扱説明書に記載の取付可能車種と、実際に取付けを行う車両が同一であることを確認します。  
 ご注意: 本品を取付可能車種以外に取り付けをしてしまうと、国土交通省令に定める道路運送車両の保安基準に合致せず違法改造となる場合があります。取付可能車種以外へのお取り付けは絶対に行わないでください。

2. 純正マフラーを取り外す為、図1の取外し時切断目安を参考にリアサスペンションメンバー上付近で、純正マフラーを切断します。尚、純正マフラーを切断せずに取外したい場合は、(1)リアキャリア、(2)リアショックアブソーバー下側取り付け部、(3)アンダーカバー、(4)チャコールキャニスターホースを取り外した後、リアサスペンションメンバー固定ボルト6本を取り外し、マフラーがメンバー上を通過するまで、リアサスペンションメンバーを下げてマフラーを取り外します。

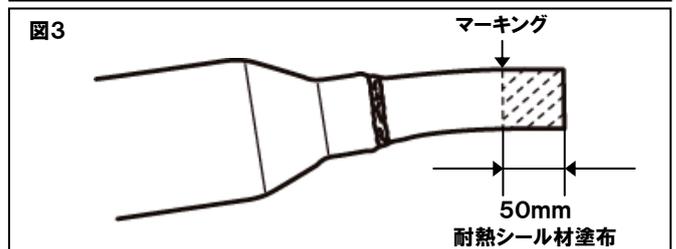


3. フランジ部のナット2箇所、トンネルメンバー 'A'、ブレイスバー、マフラーハンガーを取外し、純正マフラーを車両より取り外します。尚、サスペンションメンバーを下げてマフラーを取り外した場合は、この時メンバーを元通りに復元しておきます。

4. 純正マフラーからサブサイレンサー部を再使用するため、パイプカッターやサンダーなどを使用して、図1の切断位置Aおよび図2を参照にして、純正マフラーを切断します。この際、切り口のバリなどはきれいに取り除き、端部は軽く面取りを行ってください。



5. 図3を参照にサブサイレンサーの切断面から50mmの位置にマーキングし、マーキング位置まで全周に耐熱シール材を塗布します。



6. 3で切断加工した純正サブサイレンサーを、純正ガスケット、純正ナットを使用して車両に復元します。
7. ①メインサイレンサーの差し込みフランジ部に③マフラークランプを差し込み、純正サブサイレンサーのマーキング位置まで吻合させます。その際、③マフラークランプは本締めせず仮組みの状態にしておいてください。
8. ④ガスケット、⑤ボルト、⑥ワッシャー、⑦ナットを使用して、②テールパイプを仮付けします。
9. 純正バンパーの切欠きの中心にテールガーニッシュが位置しているか、また車両各部にマフラーが干渉していないかなどを確認しながら、③マフラークランプ、⑤ボルト、⑦ナットを本締めします。
10. 2で取外したトンネルメンバー 'A'、ブレイスバーマフラーを車両に復元した後、取り付け作業中マフラー本体に付着した、汚れ、油分をきれいに取り除き作業完了です。